

令和4年度 第4回静岡市入札監視委員会議事概要

開催日時	令和5年2月27日（月）午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	静岡市役所 静岡庁舎新館10階 契約課入札室 及び ZOOMを使用したオンライン開催
出席委員	委員長 北 勝利 （東海大学） 委員 岩原 雅美 （しずおか市消費者協会） 坂本 真樹 （静岡大学） 中村 光央 （弁護士） 増田 貴行 （公認会計士）
説明のため出席した職員（審議順）	上下水道局 水道部 水道管路課 建設局 道路部 葵北道路整備課 都市局 建築部 住宅政策課 上下水道局 水道部 水道基盤整備課 建設局 道路部 道路計画課
事務局	契約課長、外5名
議題・報告	1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査 （抽出事案は別紙1のとおり） 2 低入札価格調査結果について 3 入札参加停止等措置の状況について
委員からの意見・質問等とそれに対する回答	別紙2のとおり

抽出事案一覧表

No	件 名	入札・契約方式	担当課
①	令和 4 年度水道管整改債第 8 号 駿河区石部・用宗五丁目配水管布設替工事	制限付一般競争 入札（総合評価 施工能力 I 型）	水道管路課
②	令和 4 年度葵北県橋第 3 号 （主）梅ヶ島温泉昭和線（大河内橋）旧橋撤去工 事	指名競争入札	葵北道路整備課
③	令和 4 年度建住第 1 0 号 清水高部・清水能島・清水能島西団地災害復旧畳 設置工事	随意契約	住宅政策課
④	令和 4 年度水道基整改委第 8 号 向敷地配水場配水池更新詳細設計修正業務委託	制限付一般競争 入札	水道基盤整備課
⑤	令和 4 年度道計委第 2 8 号 葛沢線用地測量業務委託	指名競争入札	道路計画課

1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査	
① 令和4年度水道管整改債第8号 駿河区石部・用宗五丁目配水管布設替工事	
質問	回答
<p>Q1-1 (坂本委員) 「位置図」において次年度以降施工箇所としている部分は、今回の業者が施工することになるか。</p> <p>Q1-2 (坂本委員) 次年度以降も同じ要件で入札業者を募った場合に、入札資格業者は今回と同様に2者程度になりそうか。</p> <p>Q1-3 (坂本委員) 次回以降は増える可能性があるということですね。</p> <p>Q2 (岩原委員) 入札参加資格として求めた「会社の完成実績」について、どういう意味か説明して欲しい。</p> <p>Q3 (増田委員) 市内の入札参加見込業者数はいくらか。</p>	<p>A1-1 (水道管路課長) 改めて入札方式を決定することになりますので、今回の業者とは限りません。</p> <p>A1-2 (水道管路課長) 今回2者となった理由としましては、道路幅員の狭い箇所であるため安易な工事ではなかったということがあります。また発注時期として、受注業者も丁度手がいっぱいな時期と重なり、中々入札する業者がいなかった可能性があります。 今回は規模も小さくなり、また施工時期も今回とは異なる可能性があるため、今回同様2者となるとは限らないと推測しています。</p> <p>A1-3 (水道管路課長) その通りです。</p> <p>A2 (水道管路課長) 前提として、入札参加資格は受け皿を広くしたいという意向があり、今回の工事概要にある管の大きさ「φ」について、一番小さい管(φ75mm)でも良いとしました。次に施工延長ですが、一番長い延長を設定すると参加の門が狭くなるため、水道部会で、全施工延長、今回は1,825mの半分の実績があれば参加できると定め、門を広く設定しました。</p> <p>A3 (水道管路課長) 15者を確認しています。</p>

<p>Q4-1（北委員長） 次回も総合評価のⅠ型で実施するのか。</p> <p>Q4-2（北委員長） それなりの技術力は求める設定を行うつもりなのか。（施工実績として）口径の大きさや、施工延長等。</p> <p>Q4-3（北委員長） 市内埋設管の更新の状況は何%くらいか。</p>	<p>A4-1（水道管路課長） まだ金額を算出しておりませんが、金額によってⅠ型かⅡ型になると思います。</p> <p>A4-2（水道管路課長） そうですね。今回も技術的な難易度が非常に高い箇所、という訳ではないのですが、施工延長が長く金額も高い工事になるため、施工能力Ⅰ型で発注しています。</p> <p>A4-3（水道管路課長） 細かい数字は持ち合わせていませんが、管路更新率という値があり、現在、0.9から1.0の間で管路更新を目指しており、年間、全体管路の中の1%前後の更新を目指していくこととなっています。</p>
<p>② 令和4年度葵北県橋第3号 （主）梅ヶ島温泉昭和線（大河内橋）旧橋撤去工事</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1（坂本委員） 入札結果表を見ると、辞退者が多い印象だが、何者の参加で入札は成り立つのか。また今回辞退者が多い理由は何かあるか。</p> <p>Q2（中村委員） この工事の前半部分を担当したのは、どこの業者か。</p>	<p>A1（葵北道路整備課長） 入札は2者の参加で成立となります。また辞退者が多かった理由として、発注自体は台風15号の被災前でしたが、入札は被災後だったため、災害対応等で混乱があったのではと考えられます。</p> <p>A2（葵北道路整備課長） 前半部分も、伸栄建設株式会社です。</p>
<p>③令和4年度建住第10号 清水高部・清水能島・清水能島西団地災害復旧畳設置工事</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1-1（増田委員） 畳業者となると比較的小さな規模の業者が多いと思うが、市営住宅で畳が必要となると、殆ど静岡室内装備畳協同組合が契約相手方となるのか。</p>	<p>A1-1（市営住宅整備推進担当課長） 大量の畳が必要となる場合ですと組合を通すこともあります。一部屋分の畳ですと直に畳業者へ発注を行うこともあります。</p>

<p>Q1-2（増田委員）</p> <p>通常の退去等だと個々の量業者と入札や随意契約ということが多く、ある程度、例えば一棟丸々の量が必要であれば組合に依頼するとか、そのような具合か。</p>	<p>A1-2（市営住宅整備推進担当課長）</p> <p>その通りです。まとまった量が必要であれば組合に発注を行います。</p>
<p>④ 令和4年度水道基盤整備委第8号 向敷地配水場配水池更新詳細設計修正業務委託</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1-1（岩原委員）</p> <p>入札参加資格を有する業者は何者を見込んでいたか。</p> <p>Q1-2（岩原委員）</p> <p>入札参加資格として求めた「会社の完成実績」について、どういう意味か説明して欲しい。</p> <p>Q2-1（増田委員）</p> <p>修正前の設計を行った業者は、今回の受注者とは別の業者か。</p> <p>Q2-2（増田委員）</p> <p>修正前の設計を行った業者は、今回の入札に参加しているか。</p>	<p>A1-1（水道基盤整備課長）</p> <p>25者です。</p> <p>A1-2（水道基盤整備課長）</p> <p>今回設計の対象容量と同等規模を実績として求めました。</p> <p>A2-1（水道基盤整備課長）</p> <p>別の業者です。</p> <p>A2-2（水道基盤整備課長）</p> <p>はい、参加しています。入札参加者表に記載されており、株式会社極東技巧コンサルタントが前回設計者でした。</p>
<p>⑤ 令和4年度道計委第28号 葛沢線用地測量業務委託</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1-1（増田委員）</p> <p>指名業者を選定した考え方の「特殊な技術等を必要とする」とは、土地家屋調査士の資格ということによいか。</p> <p>Q1-2（増田委員）</p> <p>境界の策定が、土地家屋調査士の資格が必要ということか。</p>	<p>A1-1（道路計画課長）</p> <p>はい、その通りです。</p> <p>A1-2（道路計画課長）</p> <p>その通りです。土地家屋調査士の資格を持っているのは21者ですが、今回地域性を考慮し、7者を選定しています。</p>

<p>Q2-1（北委員長）</p> <p>地域性で7者選定したとのことだが、今回考慮した業務実績はなかったということか。</p>	<p>A2-1（道路計画課長）</p> <p>まず土地家屋調査士の資格を持っている業者として21者選定した中から、地域性で7者選定しています。</p>
<p>Q2-2（北委員長）</p> <p>売上がどうだとかいうことではなく、土地家屋調査士という資格をもって業務実績として選定されたということですね。</p>	<p>A2-2（道路計画課長）</p> <p>はい、その通りです。</p>

<p>2 低入札価格調査結果について</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>案件なし</p>	

<p>3 入札参加停止等措置の状況について</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>質疑なし</p>	